

2026年度版 栽培管理ガイド

月齢・潮見に基づいた 肥培管理戦略

月のリズムと植物の生理生態を同期させ、
安定的かつ高品質な収穫を目指す。

STEP 1

生理生態の把握

STEP 2

月齢への同期

STEP 3

最適肥培の実行

月の周期と植物の生理生態

新月から満月にかけての周期は、地上部と地下部の活性バランスが交互に入れ替わる。



地上部（栄養成長）

細胞活性が高まり、**樹液循環が強く**なります。植物体内の**未消化硝酸態を低減**させ、エネルギーを葉に集中させる時期です。



生殖成長への準備

地下部の活性が減退し、**葉の活動が最も活発**に。**花や実の充実**に向けたNコントロールや、味・栄養価向上のための管理が重要となります。



地下部（根圏環境）

水分が上部に集中した後、**根圏の代謝を促進**するフェーズへ移行します。アミノ酸や微量元素を補給し、**次周期の活性化**に備えます。

栄養成長と生殖準備期の管理

地上部の活性が高まる時期には、葉面散布と窒素コントロールが重要となる。

新月から満月までの管理ポイント

月相	生理生態	栽培・肥培管理アドバイス
新月～上弦	地上部活性化 ↑ 細胞活性・樹液循環 エネルギーが葉に集中	<ul style="list-style-type: none">未消化硝酸態の低減：植物体内の代謝を促進発根剤の活用：根酸サポートとミネラル補給強化葉面散布：分子栄養素への変換、水分・栄養循環の活性化
上弦～望月	生殖生長への転換 成長の安定・蓄積 朝夕の代謝活性向上	<ul style="list-style-type: none">Nコントロール：リズム3の灌水・葉面散布を徹底ズットデルネ：定期灌水による根圏環境の整備品質向上：適切な肥培により味・栄養価・食味を改善

重要 上弦から満月は地下部活動が減退し、エネルギーが花・実の充実へシフトします。この時期の**精密な栄養管理**が収穫物の品質を決定づけます。

代謝促進と地下部活性化の管理

満月以降は、不足栄養素の補給と代謝の活性化により品質と歩留まりを向上させる。

満月～下弦 (大潮～小潮)

生殖成長の充実と栄養補給

- **栄養補給:** アミノ酸、ビタミン、核酸を供給
- **光合成最大化:** リズム3の灌水・葉面散布
- **微量元素:** 食味や糖度アップに必要な成分を補填

下弦～晦日月 (小潮～中潮)

地下部活性化と次周期の準備

- **代謝促進:** 水分活性を高め、循環と触媒力を向上
- **細胞壁強化:** リズム3にCa/Mgを混用し灌水
- **発根促進:** 「ズットデルネ」で根酸をサポート

肥料イオン置換
代謝プロセス



転流（代謝）結合水
栄養移動



高品質・多収穫
歩留まり改善

バイオリズム栽培による収穫の最大化

生理生態に合わせた適時適切な管理が、高品質・多収穫への最短ルートとなる。

1 圧倒的な高品質化の実現

- 旨み・糖度・色艶の劇的な向上
- 鮮度を保つ日持ち性能の強化

2 安定的多収穫への歩留まり改善

- バイオリズムに沿った精密な肥培管理
- 市場価値の高いA品率の最大化

3 植物ストレスの最小化

- 環境変化に動じない強固な植物体形成
- 根圏環境の改良と栄養吸収効率の向上

4 具体的な管理アクション

リズム3：水分活性と代謝促進の核

ズットデルネ：発根・活着促進の灌水